

福井支部の設立と記念講演会の開催

この度、原子力先進地である福井県に活動を拡大するための一環として原子力国民会議福井支部を設立し、支部代表に山本富夫が就任しました。福井県には、既に地元及び近隣消費地等において、原子力理解促進のために活動・成果を挙げられている福井県原子力平和利用協議会があります。私たちは、そうした諸団体の活動に学び、協働し、原子力に対する理解促進とエネルギー政策を原子力推進の立場で働き掛けて行きたいと思えます。

発足記念イベントとして「原子力国民会議福井支部設立記念講演会」を、20

19年8月9日、敦賀市あいあいプラザにおいて開催しました。立地地域の商工会議所、商工会の後援、企業の協賛を頂き、約80名参加でほぼ満席となりました。核燃サイクルが遅々として進まず膠着状態にある原子力発電の存続、将来を改善するための重要なファクターとして地層処分問題の前進を図る観点から、「地層処分の安全性と適地選定について」と題して、地盤工学の権威である岡山大学名誉教授の西垣誠先生に講演をして頂きました。

福井県の若狭地区は、大規模な原子力発電所の立地地域であることから、原子力発電等の知識については比較的 understanding が進んでいます。ただ、馴染みの薄い分野である高レベル放射性廃棄物処分に関する講演会を開催するところにより、原子力関係者への新たな認識の一助となる成果を得ることができました。今後、講演会を地域全体で開催し高レベル放射性廃棄物の進捗状況・安全性についての啓発を図って参ります。 (T.Y.)



原子力国民会議福井支部設立記念講演会（敦賀市あいあいプラザ）